

令和3年度における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（いきいき長寿保健事業）について

【趣旨】

令和2年度から開始した本事業について、令和3年度の実施状況を報告するもの。

【事業内容】

1 目的

高齢者の多様な心身の課題に対応したきめ細やかな支援を実施し、フレイル予防と病気の重症化予防、QOL（生活の質）の維持・向上を図り、健康寿命の延伸につなげる。

2 対象者・支援内容

区分		対象者	支援内容
ハイリスクアプローチ	低栄養	BMI 18.5未満の者又は「健康状態に関する質問票」で体重減少があったと回答した者	訪問、電話等による低栄養防止、口腔機能低下予防、生活習慣病重症化予防の相談・指導
	口腔機能低下	「健康状態に関する質問票」で噛めない、固いものが食べにくい、むせると回答した者	
	重症化予防	検査数値が受診勧奨基準値以上の者	
ポピュレーションアプローチ		ふれあいサロン（高齢者の集いの場）の参加者	フレイル予防の健康教育、健康相談、フレイルチェック（指輪っか、噛む力、アンケート）

・従事者：保健師（常勤）、管理栄養士・歯科衛生士（会計年度任用職員）

【実施結果（令和4年2月28日現在）】

1 ハイリスクアプローチ

単位：人

	訪問	電話	その他	合計	備考
低栄養	47	31	0	78	高齢者相談センターへつないだ件数：3ケース ・要支援2の認定者で、体調不良の訴えが強いケース ・身寄りがなく、生活困窮しているケース ・身寄りがなく、介護が必要になった時など将来に不安があるケース
口腔機能低下	32	18	1	51	
重症化予防	5	15	0	20	
合計	84	64	1	149	

2 ポピュレーションアプローチ

実施したサロン数：13か所、実施者数：124人、フレイルを知っている割合：41.1%（緊急事態宣言期間中は、市で作製したフレイル予防のDVDを配布した。）

【今後の対応】

1 ハイリスクアプローチ

栄養、口腔、生活習慣病、フレイル予防の相談・指導を行う中で、通院、経済的困窮などその他の課題を把握した対象者を地域の高齢者相談センターなどの関係機関へつなぎ、継続支援に取り組んでいく。

2 ポピュレーションアプローチ

ふれあいサロン参加者は、積極的にフレイルチェックを行い、講話の内容についても大変関心高く聞いていた。アンケート結果から、フレイルを知っている割合は41.1%であり、引き続きフレイル予防の普及啓発に努めていく。

3 医療・介護の関係機関との連携

心身に多様な課題を持つ高齢者に対しては、医療、介護、福祉、生活支援等、様々な分野と連携し、支援を展開していくことが必要となるため、今後も医療・介護の関係機関の皆様と連携・協力を図り、事業を進めてまいりたい。